公 共 事 業 新 規 評 価 調 書（維 持 系）

本部・部名	交通政策部	課　名	道 路 課	事 業 名	道路防災対策事業（防災・安全交付金）	道路防災
種　別	道　路	事業区分	維 持 管 理			

事業目的	落石や道路法面崩落の恐れがある箇所に対策工を施すことにより、危険箇所の解消を図り、災害の未然防止や道路交通の安心・安全を確保する。

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排ガス対策型機械の使用、副産物処理の適正処理、再生材使用による資源の有効活用等を行う。
	コスト縮減策	経済性・施工性に優れた工法を検討し採用する。現場発生材の有効活用や再生材等の安価な材料を使用する。
	そ の 他	

公共事業新規評価調書

事務所名	箇所番号	道路種別	路線名	事業地		事業費 全体額 百万円	事業費 要望額 百万円	公共単独の別	完成予定年度	事業概要 延長 m	事業概要 幅員・法長 m	事業概要 平積 m2	事業概要 工法
佐賀	1	（一）	天山公園線	小城市	小城町畑田	90	20	公共	H30	876	5.5	400	落石防護柵工
佐賀	2	（主）	小城富士線	小城市	小城町松尾	25	25	公共	H28	142	15.0	2,235	落石防護網
佐賀	3	（国）	263号(三瀬トンネル)	佐賀市	三瀬村	660	244	公共	H30	1,167			トンネル補修工
東部	4	（主）	中原三瀬線	神埼郡吉野ヶ里町	松隈	75	45	公共	H29	164	2.0	328	落石防護網
東部	5	（主）	久留米基山筑紫野線	基山町	小倉	35	35	公共	H28	70	20.0	1,000	モルタル法枠工
東部	6	（一）	九千部山公園線	鳥栖市	神辺町	23	23	公共	H28	59	14.6	980	モルタル吹付工
東部	7	（一）	佐賀川久保鳥栖線	みやき町	簑原	12	12	公共	H28	40	2.0	164	ブロック積工
唐津	8	国	204号	東松浦郡玄海町	浜野浦	30	30	公共	H28	100	37.0	3,700	モルタル法面補修
唐津	9	（主）	相知山内線	唐津市	相知町佐里	15	15	公共	H28	20	8.0	40	待受式擁壁
唐津	10	（一）	納所入野線	唐津市	肥前町納所	14	14	公共	H28	20	7.5	477	簡易吹付法枠
伊万里	11	（一）	有田ポ・ゼリパーク線	西松浦郡有田町	戸矢～中樽	129	15	公共	H30	370	6.0	5,074	ブロック積工、法枠工
杵藤	12	（主）	武雄福富線	武雄市	橋町芦原	100	15	公共	H30	291	18.0	2,500	法枠工

事務所名	箇所番号	評価視点：位置付け　評価指標：点検及びプログラム					点数				点数	点数計
		H8道路防災総点検要対策箇所	橋梁の25t荷重化プログラム該当橋梁	策設後30年を経過した橋梁	前回塗装後10年を経過した橋梁	緊急点検で対策が必要と判断された箇所		通行規制区間	洪滞対策プログラムの洪滞箇所	交通事故多発箇所		
		該当要件に○を記入					(80)	該当要件に○を記入			(20)	(100)
佐賀	1	○	○			○	80				0	80
佐賀	2	○					80				0	80
佐賀	3					○	80				0	80
東部	4	○				○	80				0	80
東部	5		○			○	80				0	80
東部	6					○	80				0	80
東部	7					○	80				0	80
唐津	8					○	80				0	80
唐津	9					○	80				0	80
唐津	10					○	80				0	80
伊万里	11	○		○	○	○	80				0	80
杵藤	12					○	80				0	80

事務所名	箇所番号	評価視点：必要性・効果　評価指標：損傷の程度												計	評価指標：交通量 現況交通量（日当たり）	点数	点数計
		①斜面の表面に浮石、転石の存在する箇所	②斜面に崩壊性の土質、岩質が存在する箇所	③既設対策工が老朽化し、効果が発揮されていない箇所	④斜面に岩盤が露出している箇所	⑤地滑り危険箇所に指定されているか、地滑り現象が認められる箇所	⑥軟弱地盤上に道路盛土がなされており、沈下等の変状が認められる箇所	⑦擁壁等の既設構造物の基礎部分の変状やクラック、ずれ等の変状が認められる箇所	⑧波浪の影響を受ける箇所で、交通に著しく支障を及ぼす恐れのある箇所	⑨斜面表面の浮き石、転石小の落石等が発生し確認された箇所	⑩斜面が既に一部崩壊している、またはその恐れられる箇所	⑪地すべり現象が進行している箇所	⑫重要構造物（トンネル、橋梁）及びその周辺で道路施設の変状が認められる箇所				
		該当要件に○を記入(60)								該当要件に○を記入(80)				(80)		(20)	(100)
佐賀	1	○	○					○		○				80	593	10	90
佐賀	2			○						○				80	699	10	90
佐賀	3												○	80	5,456	15	95
東部	4	○		○						○				80	602	10	90
東部	5		○								○			80	46,563	20	100
東部	6			○							○			80	509	10	90
東部	7			○							○			80	22,258	20	100
唐津	8			○							○			80	3,404	10	90
唐津	9				○					○				80	4,055	15	95
唐津	10							○			○			80	2,860	10	90
伊万里	11		○	○	○					○				80	408	0	80
杵藤	12			○							○			80	3,908	10	90

事務所名	箇所番号	評価視点：実施環境　評価指標：公共施設、沿道状況等　沿道状況による評価　通学路の指定の有無及び今後の整備による追加指定の有無	半径1km以内の沿道施設状況による評価　教育施設（小・中学校・高校）	市役所・役場・または公共施設	病院	集会場	福祉施設	駅・公園等	商店街	バス路線	防災施設	施設数計	施設数による点数	迂回路の状況による評価　迂回路無し	迂回距離がx km以上追加	迂回路有り	迂回路による点数	点数小計	評価指標：道路の役割　主要幹線(A)	主要幹線(B)	幹線道路	補助幹線道路	その他国県道	点数小計	評価指標：緊急輸送路・観光ルート　観光地と主要幹線道路を結ぶ道路	緊急輸送道路に位置付けられている道路	点数小計	点数計	評価	判断 Ⅰ優先的に事業を実施 Ⅱ事業を実施 Ⅲ事業実施を見合わせる
		(60)	箇所数を記入										(60)	(60)	(40)	(0)	(60)	(60)	(30)	(20)	(20)	(20)	(10)	(30)	(10)	(10)	(10)	(100)		
佐賀	1												0	60			60	60					10	10	10		10	80	A A A	I
佐賀	2					1							20	60			60	60					10	10	10		10	80	A A A	I
佐賀	3												0		40		40	40		20				20		10	10	70	A A B	I
東部	4					1				1			40		40		40	60			20			20			0	80	A A A	I
東部	5	1	1					1					60				0	60			20			20		10	10	90	A A A	I
東部	6					1				1			40	60			60	60					10	10			0	70	A A B	I
東部	7					1				1			40		40		40	60					10	10			0	70	A A B	I
唐津	8					1		1		1		3	60			0	0	60					10	10	10		10	80	A A A	I
唐津	9					1	1	1		1		4	60			0	0	60	30					30	10		10	100	A A A	I
唐津	10					1				1		2	60			0	0	60					10	10	10		10	80	A A A	I
伊万里	11					1		1					40		40		40	60			20			20		10	10	90	A A A	I
杵藤	12									1			20		40		40	60			20			20			0	80	A A A	I

公 共 事 業 新 規 評 価 調 書（維 持 系）

本部・部名	交通政策部	課　名	道 路 課	事　業　名	道路整備交付金事業費(防災・安全社会資本整備交付金)	舗装補修
種　別	道　路	事業区分	維持管理			

事業目的	舗装の経年劣化に伴う路面の凹凸やひび割れの発生により、走行性が悪化し、車両通行に支障を来している箇所に補修を施し、道路交通の安全性及び快適性の確保を図る。

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排ガス対策型機械の使用、副産物処理の適正処理、再生材使用による資源の有効活用等を行う。
	コスト縮減策	経済性・施工性に優れた工法を検討し採用する。路盤材、アスファルト等は、再生材等の安価な材料を使用する。
	その他	

公共事業新規評価調書

事務所名	箇所番号	道路種別	路線名	事業地		事業費 全体額	事業費 要望額	公共単独の別	完成予定年度	事業概要 延長	事業概要 幅員・法長	事業概要 平積	事業概要 工法
						百万円	百万円			m	m	m2	
佐賀	1	(国)	444号	佐賀市	川副町 早津江	50	35	公共	H29	1,000	6.0	6,000	切削オーバーレイ工
東部	2	(一)	江口東尾線	みやき町	東尾	75	15	公共	H30	1,090	6.0	6,270	路上再生路盤工
杵藤	3	(主)	伊万里山内線	武雄市	山内町宮野	15	15	公共	H28	140	5.5	910	舗装打換
東部	4	(主)	佐賀川久保鳥栖線	神埼市	神埼町尾崎	80	40	公共	H29	800	6.5	5,200	舗装打替え
杵藤	5	(主)	武雄多久線	武雄市	武雄町武雄	40	40	公共	H28	520	6.0	4,160	切削オーバーレイ

事務所名	箇所番号	評価視点：位置付け 評価指標：事前調査 わだち掘れにより、通行車両や通行人に障害が発生している箇所	鋪装の劣化が激しい箇所	カーブ区間及び交差点付近などの偏荷重のかかる箇所	大型車の通行が多い箇所	沿道が家屋連担地区であり、通行車両の騒音に配慮すべき箇所	通行規制区間	渋滞対策プログラムの渋滞箇所	交通事故多発箇所	点数計	評価視点：必要性・効果 評価指標：損傷の程度 ①MCI値 現状	①MCI値 点数	②事業（交通安全事業等）との関連により、舗装の補修が必要な箇所	計	評価指標：交通量 現況交通量（日当たり）	点数	点数計
		(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(100)		(60)	(60)	(60)		(40)	(100)
佐賀	1	20	20	20	20	20				100	3.3	30		30	12,027	40	70
東部	2	20	20		20					60	2.8	60		60	2,629	20	80
杵藤	3	20	20	20	20	20				100	3.1	30		30	8,932	30	60
東部	4	20	20		20					60	3.0	30		30	17,284	40	70
杵藤	5	20	20			20				60	3.4	30		30	8,654	30	60

事務所名	箇所番号	評価視点：実施環境 評価指標：公共施設、沿道状況等 通学路の指定の有無及び今後の整備による追加指定の有無	沿道状況による評価 半径1km以内の沿道施設状況による評価 教育施設(小・中学校・高校)	市役所・役場・または公共施設	病院	集会場	福祉施設	駅・公園等	商店街	バス路線	防災施設	施設数計	施設数による点数	迂回路の状況による評価 迂回路無し	迂回距離が2km以上追加	迂回路有り	迂回路による点数	点数小計	評価指標：道路の役割 主要幹線(A)	主要幹線(B)	幹線道路	補助幹線道路	その他国県道	点数小計	評価指標：緊急輸送路・観光ルート 観光地と主要幹線道路を結ぶ道路	緊急輸送道路に位置付けられている道路	点数小計	点数計	評価	判断 Ⅰ優先的に事業を実施 Ⅱ事業を実施 Ⅲ事業実施を見合わせる
		(60)	箇所数を記入										(60)	(60)	(40)	(0)	(60)	(60)	(30)	(20)	(20)	(20)	(10)	(30)	(10)	(10)	(10)	(100)		
佐賀	1	60	1		1	3				1			60		40		40	60			20			20	10	10	10	90	A B A	Ⅰ
東部	2	60	1	1		1	1			1			60		40		40	60			20			20			0	80	B A A	Ⅰ
杵藤	3		1		1	1	1			1			60	60			60	60			20			20			0	80	A B A	Ⅰ
東部	4				1		1	1					60	60			60	60			20			20		10	10	90	B B A	Ⅱ
杵藤	5		1	1	1	1		1		1			60			0	0	60			20			20		10	10	90	B B A	Ⅱ

公 共 事 業 新 規 評 価 調 書（維 持 系）

本部・部名	交通政策部	課　名	道 路 課	事　業　名	道路防災対策事業	道路防災
種　別	道　路	事業区分	維 持 管 理			

事業目的	落石や道路法面崩落の恐れがある箇所に対策工を施すことにより、危険箇所の解消を図り、災害の未然防止や道路交通の安心・安全を確保する。

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排ガス対策型機械の使用、副産物処理の適正処理、再生材使用による資源の有効活用等を行う。
	コスト縮減策	経済性・施工性に優れた工法を検討し採用する。現場発生材の有効活用や再生材等の安価な材料を使用する。
	その他	

公共事業新規評価調書

事務所名	箇所番号	道路種別	路線名	事業地		事業費 全体額 百万円	事業費 要望額 百万円	公共単独の別	完成予定年度	事業概要 延長 m	幅員・法長 m	平積 m2	工法
伊万里	1	(一)	伊万里有田線	西松浦郡	有田町山谷牧	18	8	単独	H29	50	10	500	落石防護網
伊万里	2	(一)	塩屋大曲線	伊万里市	黒川町大黒川	16	5	単独	H29	50	10	500	吹付法枠
伊万里	3	(国)	204号	伊万里市	大川町大黒川	25	10	単独	H29	95	6	600	老朽化モルタル吹付け法面対策

事務所名	評価視点：位置付け 評価指標：点検及びプログラム H8道路防災総点検要対策箇所	橋梁の25t荷重化プログラム該当橋梁	架設後30年を経過した橋梁	前回塗装後10年を経過した橋梁	緊急点検で対策が必要と判断された箇所	点数	通行規制区間	渋滞対策プログラムの渋滞箇所	交通事故多発箇所	点数	点数計
	該当要件に○を記入					(80)	該当要件に○を記入			(20)	(100)
伊万里	○					80				0	80
伊万里					○	80				0	80
伊万里					○	80				0	80

事務所名	評価視点：必要性・効果 評価指標：損傷の程度 ①斜面の表面に浮石、転石の存在する箇所	②斜面に崩壊性の土質、岩質が存在する箇所	③既設対策工が老朽化し、効果が発揮されていない箇所	④斜面に岩盤が露出している箇所	⑤地滑り危険箇所に指定されているか、地滑り現象が認められる箇所	⑥軟弱地盤上に道路盛土がなされており、沈下等の変状が認められる箇所	⑦擁壁等の既設構造物の基礎部分の変状やクラック、ずれ等の変状が認められる箇所	⑧波浪の影響を受ける箇所で、交通に著しく支障を及ぼす恐れのある箇所	⑨斜面表面の浮き石、転石小の落石等が発生し確認された箇所	⑩斜面が既に一部崩壊している、またはその恐れが認められる箇所	⑪地すべり現象が進行している箇所	⑫重要構造物(トンネル、橋梁)及びその周辺で道路施設の変状が認められる箇所	計	評価指標：交通量 現況交通量（日当たり）	点数	点数計
	該当要件に○を記入(60)							該当要件に○を記入(80)					(80)		(20)	(100)
伊万里	○	○											60	2,224	10	70
伊万里			○										60	4,504	15	75
伊万里			○				○						60	8,056	15	75

事務所名	評価視点：実施環境 評価指標：公共施設、沿道状況等 通学路の指定の有無及び今後の整備による追加指定の有無	沿道状況による評価 半径1km以内の沿道施設状況による評価 教育施設(小・中学校・高校)	市役所・役場・または公共施設	病院	集会場	福祉施設	駅・公園等	商店街	バス路線	防災施設	施設数計	施設数による点数	迂回路の状況による評価 迂回路無し	迂回距離が2km以上追加	迂回路あり	迂回路による点数	点数小計	評価指標：道路の役割 主要幹線（A）	主要幹線（B）	幹線道路	補助幹線道路	その他国県道	点数小計	評価指標：緊急輸送路・観光ルート 観光地と主要幹線道路を結ぶ道路	緊急輸送道路に位置付けられている道路	点数小計	点数計	評価	判断
	(60)	箇所数を記入										(60)	(60)	(40)	(0)	(60)	(60)	(30)	(20)	(20)	(20)	(10)	(30)	(10)	(10)	(10)	(100)		
伊万里		1			1		1					60				0	60					10	10	10		10	80	A B A	Ⅰ
伊万里									1			20		40		40	60			20			20	10		10	90	A B A	Ⅰ
伊万里				1			1		1			60		40		40	60			20			20		10	10	90	A B A	Ⅰ

判断
Ⅰ 優先的に事業を実施
Ⅱ 事業を実施
Ⅲ 事業実施を見合わせる